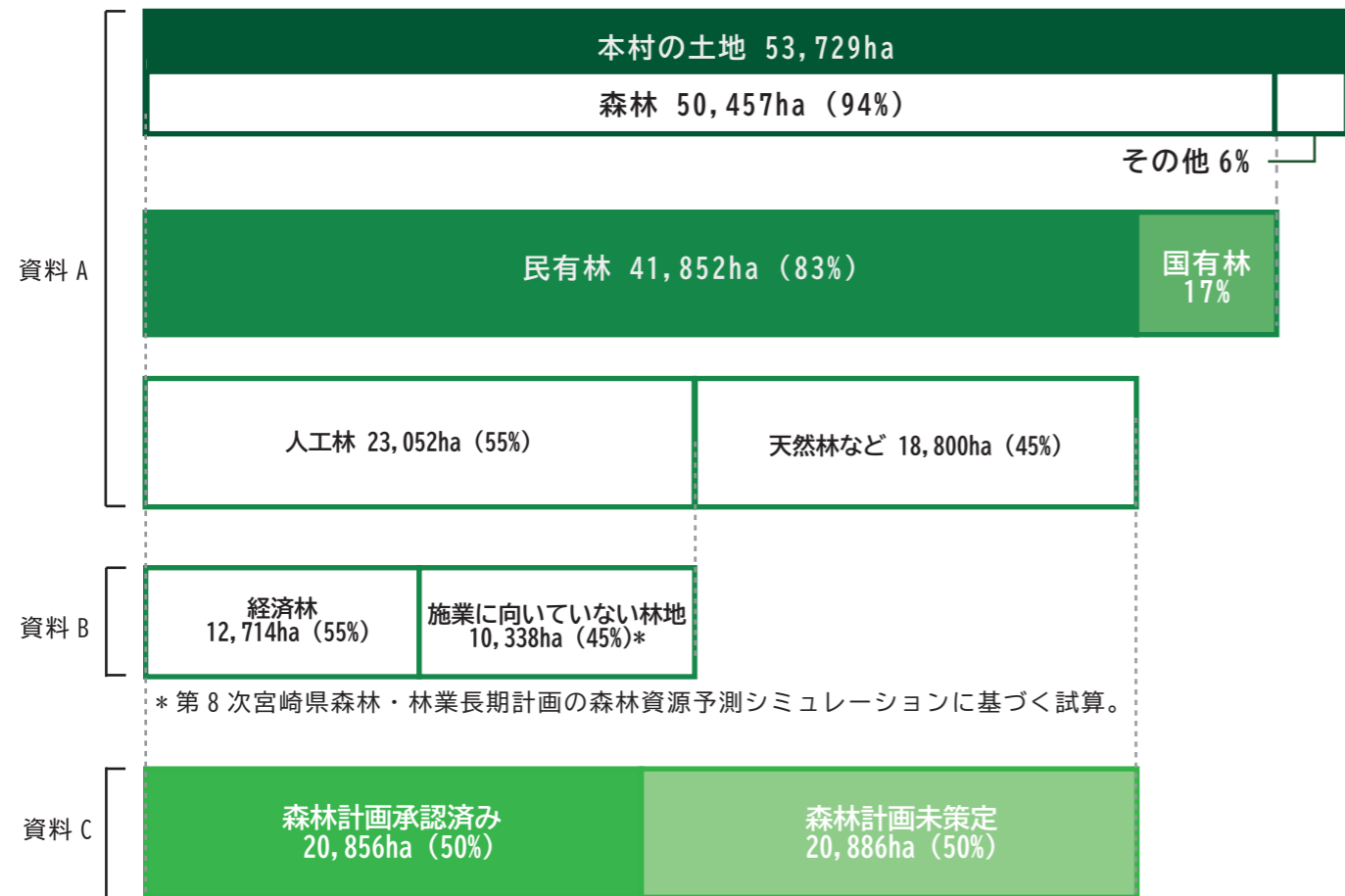




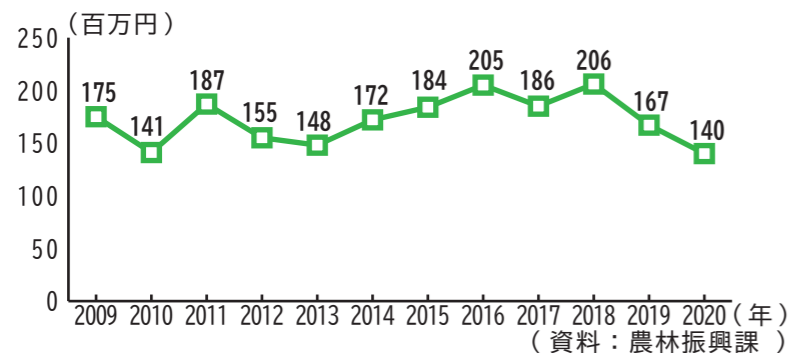
現状

【椎葉村の森林面積】

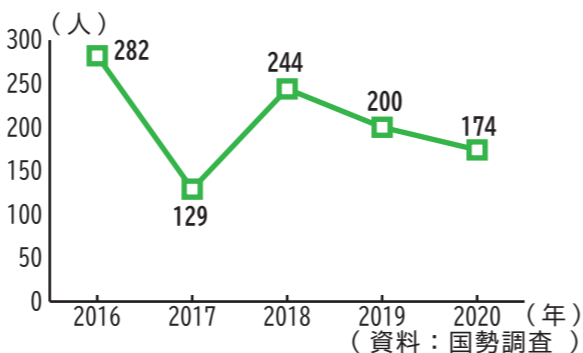


(資料 A：耳川地域森林計画 資料 B：農林振興課 資料 C：宮崎県林業統計要覧 令和2年3月)

【乾燥椎茸年間出荷額 (JA 出荷分) の推移】



【林業従事者数の推移】



目標

森林の持つ公益的機能区分 (ゾーニング) に応じた施策を推進することで、森林の保全、林業・木材産業の振興を図ります。

数値目標	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)	備考
主伐面積に対する再造林面積の割合	100%	100%	
森林経営計画の策定割合	50%	50%	前項グラフ参照。山林所有者の高齢化に伴い既に計画策定済の山林が計画を更新しないことで割合が減少することもあるため現状維持を目標値とする。
乾燥椎茸年間出荷額	1.4 億円	1.8 億円	4,000円/kg × 45,000kg = 1.8 億円
年間新規従事者数	2人	3人	農林振興課で把握可能な事業体に就業した人数のみ。自伐林家は含まない。

関連する個別計画 椎葉村森林整備計画 (期間：2021～2030年度)

行動指針

- (1)～(6) について
限りある人員や財源の中で、中長期的な保全を推進するためには、施業に向いていない林地における人工林からの樹種転換 (天然更新等) 等の施策が考えられます。有識者と連携しながら検討を進め、計画期間中に具体的な取り組みを開始します。
- (3)(6) について
林業従事者数の維持を図るために、農林振興課は地域振興課の担う UI ターン促進に関する施策との連携をより強化します。
- (3) について
特に人手不足が顕著な下刈施業について、2022年度から2026年度までの間「林業従事者下刈施業特別対策事業」により継続的に支援を行います。
- (4) について
森林資源の活用について、森林の持つ多面的機能 (保健機能等) にも着目し、新たな支援策を検討しながら地域内の木材利用の推進も含め、支援を図ります。

チーム



施策の体系

森林の保全

生態系の保全や災害リスクの軽減のための取組です。作業路の開設等、生産基盤の整備に該当する取り組みも含まれます。分野2「防犯・防災体制の充実」と連携した取り組みを推進します。

特用林産・その他の森林資源活用

資源を活用した収益化を促進します。
 (1事業者あたりの所得) × (事業者数) の最大化を図ります。

1事業者あたりの
所得(利益)が増える

事業者数の減少が
ゆるやかになる

(1)森林整備を推進します。

- 【主な事業】
 国土保全造林事業
 間伐促進事業
 しいば里山保全・資源活用推進事業
 森林経営管理道整備事業補助金

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
主伐面積に対する 再造林面積の割合	100%	100%
森林経営計画 の策定割合	50%	50%

(2)生産基盤を整備します。

- 【主な事業】 森林経営管理道整備事業 新たな森林管理システム事業

(3)従事者数を増やし、離職数を減らします。

- 【主な事業】 就労条件整備事業
 林業従事者担い手対策事業(下刈施業特別対策事業)
 林業後継者育英資金貸与事業

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
年間新規 従事者数	2人	3人

(4)売上高を増やすための活動を支援します。

- 特用林産
品質の向上を図るための品評会の継続、消費販路拡大に向けた商談会やイベントを積極的に取り組みます。
【主な事業】 椎葉椎茸再生計画支援事業
- 木工品等
【主な事業】 木のぬくもりを届けるプロジェクト
- その他 サービス産業等

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
乾燥椎茸 年間出荷額	1.4億円	1.8億円

(5)経営コストを減らすために支援します。

- 【主な事業】 椎茸生産施設管理事業 しいたけ等特用林産物生産体制強化事業

(6)新規事業者数を増やし、離職数を減らします。

- 【主な事業】 山村地域を支える特用林産新規就業者支援事業